

CAMPUS 八戸学院

vol.45

平成29年度の始まりにあたり
新企画 図書空間
28年ぶりの再開



CAMPUS 八戸学院

vol.45



表紙

聖アンナ幼稚園の園児たち、みんなで作った鯉のぼりを囲んで記念撮影。

建学の精神 「神を敬し、人を愛する」

カトリックの精神に則る道徳教育を施し、高尚なる人格の完成を期し、現代社会が要請する有為の人材を育成することをもって目的とする。(寄付行為 第3条)

- 八戸学院大学
TEL 0178-25-2711
- 八戸学院大学短期大学部
TEL 0178-25-4411
- 八戸学院大学・八戸学院大学短気大学部
地域連携研究センター
TEL 0178-25-2789
- 八戸学院大学・八戸学院大学短気大学部
図書館
TEL 0178-30-1695
- 八戸学院光星高等学校
TEL 0178-33-4151
- 八戸学院光星高等学校専攻科
TEL 0178-25-6322
- 八戸学院野辺地西高等学校
TEL 0175-64-4166
- 八戸学院幼稚園
TEL 0178-34-5765
- 聖アンナ幼稚園
TEL 0178-45-3670
- 第二しのめ幼稚園
TEL 0178-25-2488

<http://kosei.hachinohe-u.ac.jp/>

CONTENTS

- 3 平成 29 年度の始まりにあたり
- 10 新入紹介
- 12 八戸学院 NEWS
- 16 イベント情報
- 17 図書空間
- 18 理事長散策

元気に育て大空をおよぐ…

5月といえば端午の節句。聖アンナ幼稚園でも玄関に兜飾りを設え、子供たちとこいのぼりを作りました。こいのぼりの制作では、丸い形の画用紙に、クレヨンで色を塗ってうろこを作りました。それぞれが思い思いに色を塗っていきます。いろいろな色を使いカラフルに仕上げる子、一色を丁寧に塗っていく子…。中には、水玉模様や渦巻き模様、チェック柄など個性が光るうろこがたくさん出来上がりました!完成したこいのぼりは園内に飾られ、自分の描いたうろこを探しながら、「すごい!」「とってもきれいだね。」と嬉しそうなお子どもたち。5月2日には、端午の節句についてのお話を聞き、お歌を歌ったり新聞紙兜を被ったりしながらこどもの日をお祝いしました。



平成29年度の始まりにあたり

理事長 法官 新一

平成29年度の始まりにあたり少しお話をいたします。

本法人は創立60年を迎えて、記念の事業を進めております。これは学院発展のために「尽力下さいました関係各位に感謝を申し上げますとともに、これを契機にさらなる発展と地域の期待に応えるべく、さらなる学院づくりに教職員一致団結して取り組んでいこうとする思いを表すものと思っています。

学院あげて準備に入っているわけですが、特に外郭団体はじめ、学院に関わる方々、地域の方々の物心両面にわたる温かいご支援を頂いて順調に進んでおりますが、改めて関係各位に感謝を申し上げますと共に、期待に応えるよう努力して参りたいと思います。

次に、学院の現状について触れたいと思います。

私どもの学院は、大学、短期大学、光星と野辺地西2高等学校、専攻科、そし

て3幼稚園と子会社学園サービス運営経営しています。キャンパスは、美保野、湊高台、野辺地と幼稚園におよびます。総在籍数は、大凡2500名で、教職員数は専任、非常勤を合わせて400名に及びます。因みに、全国私大603校の中で、本法人は中位にあつて種々の教育活動および地域貢献からみて、地方の大学法人としての役割を果たしていると思っています。

すでに周知のことですが、学校を取り巻く環境は依然若年人口の減少という状況下であり、改めてこうした局面の対応に迫られています。このため昨年に「法人第一の建学」をテーマに、大谷学長を座長に、「将来構想戦略会議」を立ち上げて検討にはいりました。短期大学部への移行は実施されましたが、学部・高校・幼稚園を含めた改革が検討の週上にあります。

平成29年3月6日に文部科学大臣、松

野博一名で「我が国の高等教育に関する将来構想について（諮問）」が出されましたが、その理由を中央審議会の資料から抜粋してみると「我が国の高等教育機関へ主たる進学者である18歳人口の推移を見ると、2005年に約137万人であったものが、2016年には119万人にまで減少しています。今後18歳人口は2030年には約100万人にまで減少し、さらに2040年には現在のおよそ3分の2に当たる約80万人となる推計もあります。」また我が国の大学進学率55%。その半数は東京を中心とする都市圏に集まっている。大都市の有名大学に定員を超えて入学し、地方大学はより厳しい現状にあるといわれています。しかし、地方の大学の始どは中小規模の大学ですが、地方の教育・文化を担っているのも事実であります。

学校の再編が言われ、法人合併が話題になる時代になっているが、本学院に

においては地域に根ざし、地域との連携強化と国際化を目指した特色ある学校づくりを模索していくことが大事なことに感じています。

法人60年の節目の年にあたり、新たな希望を持つて教職員の皆さんと共に教育と経営の一致を求めて努力して参りたいと思っています。



平成 29 年度辞令交付式にて[4/3]

光星高等学校

皆様初めまして。この四月に八戸学院光星高等学校に着任いたしました小野崎龍一と申します。前任の橋場保人校長同様、よろしくお願い申し上げます。



小野崎 龍一
光星高等学校 校長

八戸学院光星高等学校は、皆様ご承知のように「カトリシズムにおける、遍く愛を注ぐ」の精神に基づき「教育に機会均等を」という建学の精神の下、これまで二万三千名余の有為な人材を社会に送り出していました。現在は、湊高台キャンパスに1号館から5号館及び体育館・生徒会館を、美保野キャンパスに野球場やサッカー場を有し、在籍者数が九三〇名を超える県内でも有数の大規模校です。

本校は、(1) 光星高校に來れば、「学校がもっと好きになる」、(2) 光星高校の生徒は、「5年後10年後が楽しみ」、(3) 光星高校の教師は、「授業で人を育てカリキュラムで明日を語る」をキーワードに、日々教育活動を行っております。今年の11月12日(日)には、学校法人光星学院60周年記念式典が開催されることになっておりますが、この60年の節目を契機に、さらなる発展を目指して「新しい希望のステージへ」生徒・教職員丸となって取り組んでまいります。

八戸学院大学



大谷 真樹
八戸学院大学 学長

今年は、私が学長に着任してから最も多くの新入学生を美保野キャンパスに迎えることが出来ました。5年前は男子学生が中心の大学でしたが、難関資格の合格実績も豊富になった人間健康学科の人気や、新たに設置した4年制看護学科も2年目となったことにより、今まで以上に多くの女子学生が美保野に学び、新緑のキャンパスはよりいっそう華やかになりました。また八戸学院短期大学も八戸学院大学短期大学部と校名が変更になり、以前にも増して連帯感を持つて学生教職員の交流が進んできています。活性化した運動部の活躍はもちろんですが、今年は新たに演劇部などの新設や新

しい弓道場の建設を進めており、今まで以上に部活動サークル活動などで活躍できる機会が広がり環境も整備されました。一方、今年も国際交流や海外語学研修の積極的な支援を継続しグローバル感覚や高い国際教養力の習得を二丸となつて目指します。昨年度も引き続き各学部ともほぼ100パーセントという高い就職率や、養護教員の現役採用もあり日頃の勉学の成果も大いに結果を出せた年でした。今年度も、系列高校とも大いに積極的に連携し私学らしい特徴を出しながら、勉学とサークル活動も北東北で最も輝いている大学を目指します。

八戸学院大学短期大学部



外崎 充子
八戸学院大学短期大学部 学長

平成29年度、本学は八戸学院大学短期大学部に名称が変更になりました。今年は八戸学院大学と二層の連携を図り、学びやゼミナール、サークル活動等において協力体制を築いてまいります。

大学と短大の距離は200余メートルあります。最近では学生食堂や図書館において昼休みや放課後学生たちが談笑しながら歩いている風景が見られます。大学に連なるケヤキ並木は初夏の新緑、盛夏の木陰、晩秋の紅葉など四季それぞれの風情があり、快適な散歩道となっています。構内は東京ドーム約5.5個分の広大な敷地に学びを支える施設・設備が整っています。

学生の皆さんにはこのキャンパスで教員やスタッフのサポートを得て、未来を切り開いていく確かな力を身に付けていく欲しいと思います。今年、法人は創立60周年にあたり、記念式典や記念誌の発行、記念ミュージカル上演など多彩な行事を計画しています。短大も学科の特性を生かし、バイタリティーや行動力を発揮して本学の魅力を発信していきましょう。

地域で輝く八戸学院大学短期大学部、キヤッチフレーズは「ミッション(使命)」「パッション(情熱)」「テンション(上機嫌)」です。

「節目」を大事に生きていく若者は、意志が強く豊かな心をもつ人に成長します。また、誰もが、その人生において様々な「節」に出合い、それらの節を二つ二つ乗り越えることで、さらにたくましさを加え成長します。「節ありて強し」です。逃げずに立ち向かう時、しなやかな強さが身につきます。



小野寺 實
光星高等学校 校長補佐

今年、本校は創立六十周年、還暦の節目を迎えました。開校以来、多くの卒業生と先輩教職員が幾多の困難を乗り越えて築き上げてきた「強くて大きな土台」この上に、何を築いていくか、これが私たちに課せられた使命です。一つは、「さわやか光星」の実現を急ぐこと。爽やかな挨拶が充滿する校風を創り上げるです。二つは、礼節を重んじ、社会で通用する豊かな人間力を身につけさせること。新体制のもと、爽やかな「新しい風」を巻き起こしたい。



中村 良寛
光星高等学校 教頭

平成29年度光星高校は、新入生272名を迎え、全校生徒数933名でスタートしました。今年度、小野崎新校長を迎え、新たな学校経営方針の下、「さわやか光星」を目指し、日々の教育活動に取り組んでいます。私は教頭として、生

徒達が安全・安心・快適に学校生活を送れる環境づくりに取り組み、生徒の満足度を上げ、最終的には、「光星高校を選んで良かった」と思われるような学校づくりをすることが私の使命ではないかと考えています。今年度も多岐にわたり、本校生徒が活躍できるよう、生徒の自己実現のため、日々努力して参りますのでよろしくお願いいたします。

野辺地西高等学校

光星高等学校専攻科



齋藤 弘実
光星高等学校専攻科 校長代行

2017年4月3日(月)の辞令交付式にて八戸市勤務の異動辞令をいただいた。

新勤務地の八戸市は22歳からの9年間、光星学院高等学校でお世話になった土地で今回の赴任で2回目の勤務となります。当時を思い出すと22歳から30歳までの9年間ににかく毎日真剣に生徒と向き合っていた日々が、今でも思い出されます。特に25歳で初めて卒業生を送り出した時の感激は言葉にならないものでした。

また、前勤務地の野辺地町は平成元年から28年まで、28年間お世話になった地で自分の教員人生の4分の3を過ごした町です。その間、野辺地工学専門学校、びわの幼稚園と幅広く子供たちの教育に携われる機会をい

ただき感謝しております。今でも幼稚園で共に遊んだ子供たちに園長先生と二声掛けられたときは、記憶が戻り幼かった園児姿が思い浮かびます。様々な人生の節目の一つを二年にしました。平成29年4月に八戸異動辞令をいただきました。

初めにキャンパスで見たこと感じたことは「学ぶ学生たちがキラキラ輝いている」「丁度、学生が夕日と重なった瞬間であつたでしょう。

私は、全ての物事には訳がある。きっとこのタイミング、この方向性、この方針にも訳があると思っております。そしてその訳を求めるまで歩み続けようと思えます。八戸赴任して、また赴任するにあたり今思っていることです。



橋場 保人
野辺地西高等学校 校長

この度、八戸学院光星高等学校での勤務を経て、兄弟校である八戸学院野辺地西高等学校に着任しました。

本校は、「青森県唯一の私学総合学科高校」として下北地区、上十三地区、東青地区の三つの地域に隣接するところに位置しており、また広く青森市、弘前市、八戸市など県内三市からもたくさん生徒が入学しております。

総合学科高校は単位制の学校であり、原則留年はなく必要な単位を修得すれば卒業できます。従って「自分探しのための学校」と言わ

れます。

草木豊かな自然環境の中で、生徒は自分の個性や適性を発見し、将来の進路や生き方を学び、挑戦と失敗を繰り返しながら柔軟に逞しく生きる力を身につけます。

是非一度、「生徒の夢と感動」を乗せた本校の熱気球が、雲一つない青い大空に描かれている姿をご覧いただきたいと思えます。

八戸学院野辺地西高等学校は、地域に愛され、必要とされる人材を育み、地域とともに成長できる学校を目指しております。



田頭 寛
光星高等学校専攻科 教頭

平成29年度、27名の新入生を迎えスタートしました。自動車科では「走る・曲がる・止まる」の基本原理に始まり「エンジン・シャシ・電気」といった自動車の主要構造を基礎から専門的な内容へと段階的に学習します。今では一般的となったハイブリッド車(HV)、電気自動車(EV)など地球環境に優しい自動車が登場する前に走っています。革新的な安全技術が次々に



浜 章夫
光星高等学校 専攻科 事務長

その1。むかし兵庫のある予備校、地元では神戸大学に入るより難しいとされ、両方に合格するとどちらに進学するか受験生を相当に悩ませていました。青森のとある私立高校が出現し、地元では県立進学高校に入るとより難しいとされ、両方に合格すると

実用化されて続けている自動車の基礎をしつかり学習します。今年もメーカーやディーラーの協力を得て実践を伴う技術講習会でさらに知識技術の幅が広がるよう展開します。

介護福祉科は、今年度より2年生が介護福祉士国家試験を受験します。自動車科と同様に全員が合格となるよう最大限の支援をします。座学と実習の連携を密にしてコミュニケーション技術の向上を図ります。また、手話講座やボランティア活動など昨年の取り組みを層充実します。本校は仕事に直結する科目が大半を占めており座学と実習がバランスよく設置されております。学生一人ひとりが自己実現できるよう支援したいと思えます。

どちらに進学するか受験生を相当に悩ませます。「どちらがスベリ止め？」というお話ですが、事務方として幾分でも寄り合いとと考えています。その2。老朽化した生徒会館を、モダンな食堂と最新式スタジオと冷暖房完備の図書館を備えた素敵な建物に建て替えるための絵を描きたい。抱負を述べるとは、夢を語り風呂敷を広げることと理解しています。



迫 祐子
野辺地西高等学校 教頭

本校では、総合学科の特色を活かし、生徒一人ひとりの個性を伸ばす教育実践を進めております。

これは、「何を学びたいのか」「自分には何が向いているのか」等、生徒が興味関心を持っている系列の科目を選択することにより、自分自身の良

さや独自性を発見できるよう支援し、進路実現へつなげる取り組みとなります。

可能性に満ち溢れる生徒達の成長や学びを、教員が一丸となってサポートし、保護者の皆様や地域の期待に応える学校となれるよう、精一杯努めて参りたいと存じます。

今年度もどうぞよろしくお願い致します。



大関 武仁
野辺地西高等学校 事務局長

このたび十七年ぶりに再び母校に勤務することになりました。改めて校舎、グラウンドを観て、甲子園出場を夢に丸刈りで練習に明け暮れたグラウンド、指導者として生徒と共に過ごした宿舎など当時のことが思い出され胸に期すものがあ

りました。

八戸では法人本部に十四年、光星高校での三年間の勤務は、私にとって貴重な経験と財産になりました。この経験を生かし、生徒・教職員が楽しく通学通勤できる教育環境づくりを目指します。

第二しのめ幼稚園



滝田 いと子
第二しのめ幼稚園 園長

今年度は、名変更と学院創立六十周年の大きな節目を迎え、心新たな思いで新年度をスタートいたしました。

「思いっきり遊べる子」「心身ともにたくましい子」「心と心の通い合う保育」の三つを柱として、一人ひとりの気持ちに

寄り添い、共に育つ保育を心がけ、教育活動を展開していきたいと考えています。保護者の皆様との共通理解を深め、園と一体となり、安心、安全な園づくりを進めてまいります。受け継がれた歴史と伝統を引きつぎ、感謝の心を大切に、いつまでも「にこにこ」のびのび・すくすく・ぐんぐん」と笑顔が広がる幼稚園でありたいと思います。

子ども達が、初めて出会う集団生活の場、それが「幼稚園」です。一人ひとりの可能性を大切に、安心して生活できる環境作り、丁寧な保育を心がけ、楽しい園生活を過ごせるようにしていきたいと思います。「報・連・



東出 まさえ
第二しのめ幼稚園 教頭

相」を合言葉に、園長先生を中心に、教職員一同共通理解を深めながら、日々の保育を大切に取り組みたいと思います。

聖アンナ幼稚園



山西 幸子
聖アンナ幼稚園 園長

この世に生を受けて、まだ数年の子どもたち。その一人一人には素晴らしい個性があり、彼らは無限の可能性を秘めています。私たち大人よりも、より自然に近い存在である子どもたちの生活には、日々多くの感動があり、学びがあります。

ゆったりとした時間の流れの中に、子どもの成長に適った環境を整えることが何よりの教育と考えています。今年度も、「子どもたちが、健やかに成長しますように。お父さん・お母さんたちが、元気に子育てできますように。先生たちが、より良い教育活動ができますようにと祈りつつ、心を尽くして努めて参ります。」

幼児期の子どもたちは、まさに新緑の如くエネルギーに満ち溢れ、日々いろいろなことを吸収しながら勢いよく成長していく姿に驚かされます。どんなに小さくても精一杯心を働かせて感じ、考えながら真面目に今を



吉田 ひろみ
聖アンナ幼稚園 主任教諭

生きようとする子どもたちの精神性から気付かされ、学ぶことが沢山あります。今年度も子どもたちの育ちを信じ、子どもにとって良い環境の一部になれるよう努めたいと思います。

八戸学院幼稚園



道合 康子
八戸学院幼稚園 園長

開園10年が過ぎ多くの子どもたちが巣立って行きました。本園の教育目標である「明るく元気な子」・「心の豊かな子」・「自分の考えをもてる子」、更には「あたたかくやさしい幼稚園」というねらいの下、子ども達には、のびのびと活動できる空間、保護者の方には、子育てを共に喜び合う事が出来る場を提供しています。子どもたちが日々出会う環境が「子どもの園」であるように、常に丁寧な教育と環境づくりを意識して進めてきました。

このことは、子育て支援の一環である未就園児教室にも繋がる大事な本園の特色でもあります。今後も変わることなく、八戸学院幼稚園に入園させてよかったと言えるような幼児教育を継続して参ります。



加藤 康子
八戸学院幼稚園 副園長

4月から八戸学院幼稚園に勤務し、教職員と保護者のみなさまとともに、園児の成長を見守っています。あたたかくやさしい幼稚園として、ていねいな教育で、子育て支援も提供し、法人内上級学校との連携活動も推進しているこの幼稚園で、研修し、多くの情報と知識を得て、専門性を高め、先生方やごもたちに還元してまいりたいと思います。保護者のみなさまの声に耳を傾け、こどもの成長とともに喜びあえるよう努めてまいります。

これまで、自分のクラスの子ども一人ひとりの気持ちに寄り添い、より良い成長を願って励んできました。これからは子ども達・保護者の皆様・地域の方々との繋がりがりも大切に考えながら、「地域になくってはならない存在の園」と言っていた



河原木 祥子
八戸学院幼稚園 主任教諭

だけるように努めていきたいと考えています。開園から11年目となる今年、新たな10年の始まりの年として、私も気持ちを新たに取組んで参りたいと思います。

「あたたかくやさしい幼稚園」として、子どもたちの思いに寄り添い、体験を通しての発見や感動を喜びや意欲にして成長していけるように丁寧な教育を心掛けています。また、保護者の皆様と子どもたちの様子を共有し、ともに考え、



岩館 由香里
八戸学院幼稚園 教頭

ともに成長を喜び合えることを嬉しく思います。今後もこれまで同様、より良い環境を提供できるように、研修し、日々反省と改善、工夫を積み重ね、教職員の連携を密にし、笑顔とあたたかい雰囲気をもって努めて参ります。

平成29年度 新任紹介

①担当科目 ②コメント



岩間 達希
八戸学院光星高等学校
常勤講師

- ①数学
②先輩方のご指導を受けながら、生徒たちと共に成長していきたいと思っています。よろしくお願い致します。



安部 恒俊
八戸学院光星高等学校
常勤講師

- ①英語
②八戸市で生活するのは人生で初めてのことで、公私とも右も左も分からない状態ですが精一杯頑張ります。どうぞよろしくお願い致します。



西野 真理子
八戸学院光星高等学校
常勤講師

- ①英語
②昨年までは中学校で勤務しておりましたので、その経験を活かしていければと思っています。



鶴見 浩一郎
八戸学院大学ビジネス学科
特任教授

- ①地域産業論 他
②28年間の民間企業勤務から大学に転じて8年、青森の高級食材「ミネフジツボ」の高効率養殖ビジネスの実現を目指しています。



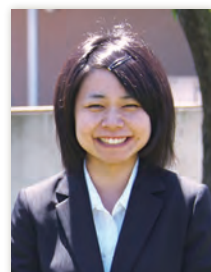
鈴木 俊裕
八戸学院大学ビジネス学科
教授

- ①教育原理 他
②論語に「学びて思わざれば則ち罔(くら)し、思いて学ばざれば則ち殆(あや)うし」という言葉があります。学ぶ事と考える事の大切さを語ったものです。共に知見を高め行動する人を目指しましょう。



山田 奈穂子
八戸学院幼稚園
常勤講師

今年度より、常勤講師として子育て支援を担当し、未就園児教室・預かり保育を担当することになりました。保護者の子育てを応援していきたいと思っています。どうぞよろしくお願いします。



小栗 千明
八戸学院幼稚園
常勤講師

今年度から八戸学院幼稚園に勤務しています小栗千明です。満3歳児のクラスでたくさんの元気を子ども達からもらいながら頑張りたいと思います。



伊藤 芹香
八戸学院野辺地西高等学校
常勤講師

- ①英語
②教師1年目でまだまだ分からないことが多く、上手いかわからないこともありますが、先生方に助言等頂きながら精一杯頑張っていこうと思います。



辻村 史子
八戸学院大学看護学科
教授

- ①高齢者看護概論 他
②学生さんが、課題を自分自身で解決できることと、高齢者さんが、生活の質向上につながる、保健・医療・福祉との連携に必要な支援をしていきたいと思っています。



神郡 博
八戸学院大学看護学科
教授

- ①精神看護学概論 他
②精神看護学を担当します。今、社会のいろいろな変化の中で、こころの問題が注目されています。この講義ではそうした問題を取り上げながら、こころの健康とは何か、こころの健康が損なわれた時にどういうケアが必要になるかを考えていきます。



藤代 典子
八戸学院大学ビジネス学科
特任准教授

- ①マーケティング論 他
②企業の競争優位性や超過収益力を高める経営手法「ブランド・マーケティング」を通じ、地域の活性化を共に目指していきたいです。



佐々木 眞子
学務部キャリア支援課
主事

光星高校・八戸学院大学出身者として母校に恩返しができるよう精一杯努めて参ります。どうぞよろしくお願い致します。



小谷地 結希乃
学務部情報メディア課
主事

まだまだわからない事ばかりですが、学ぶ姿勢を忘れずに、笑顔で頑張りたいと思います。よろしくお願いします。



佐々木 千弓
聖アンナ幼稚園
非常勤講師

創立60周年を迎えた節目の年という事で、気を引き締めて努めて参りたいと思います。どうぞ宜しくお願い致します。



安田 美央
八戸学院大学短期大学部幼児保育学科
講師

- ①ピアノレッスン 他
②生まれ育った八戸で、保育士養成や音楽教育に携われることを大変嬉しく思います。学生のみなさんの成長が楽しみです。



田中 克枝
八戸学院大学看護学科
教授

- ①小児看護学概論 他
②学生の皆様、エビデンスに基づいた小児看護を楽しく、理解できるように関わりますので、自ら学ぶ姿勢でよろしくお願い致します。



矢野 章永
八戸学院大学看護学科
教授

- ①在宅看護概論 他
②在宅看護学を担当し、学生の皆様が在宅医療・看護に興味をもち、将来、在宅療養を必要とする人々に貢献できる人材を育成します。



光星高 **地球のステージ**
NPO法人「地球のステージ」(代表 桑山紀彦氏)をお招きし、講演会を開催した。桑山氏は、カンボジア人難民キャンプでの国際協力を始め、湾岸戦争後のイラクなど世界中をまわり医療救援活動をされ、NPO法人「地球のステージ」を立ち上げ「命の尊さ」を改めて感じてほしいと音楽と映像で広めていらつやいます。

地球のステージ
[4/25]



(生徒の感想)
地球上には日本と全く違い、戦争や争いの絶えない国がある一方、きれいな景色や美しい自然も存在する。今までボランティアに興味もなく、飢餓や争いに苦しむ人々を見ても「可哀想」としか思っていまへん。彼らはそんな中でも必死に幸せを掴み取りながら生きている。命を無駄にしないように。東日本大震災を経験した私たちだからこそ、尚更命の重みは分かっているつもりでしたが、今改めて、当たり前前の幸せに感謝する気持ちを持つことの大切さに、気付かされた講演でした。

専攻科 介護福祉士・二級自動車整備士を目指して



本校の自動車科二年生は3月の修了証書授与式後に二級自動車整備士国家試験を全員が受験し、合格率は100%に近い高成績を毎年残しております。また、介護福祉科は今年度から社会福祉士及び介護福祉士法の改正に伴い、介護福祉士の資格を取得するためには、二次1月末実施の介護福祉士国家試験を受験して取得するか、本校を修了して5年間の実務経験を積んで無試験で取得するかのいずれかになります。したがって、今年度は、介護福祉科二年全員が1月末に介護福祉士国家試験を受験する計画です。このように、今後は専攻科の学生全員が二次に進級すると国家試験を受験することになります。在学中、学生全員が資格取得できるよう、両科共に放課後の時間を利用し、全員の合格を目指しそれぞれの専門知識を更に深められるよう支援しております。

野西高 新たな挑戦へ
～平成29年度入学式挙行～ [4/8]



平成29年度、新入生80名を迎えました。
学校長の式辞では、「野西にしかない野西ブランドを造りだそう」のメッセージと、野辺地町町長から励ましの言葉を頂戴しました。新入生は期待と不安の混じった緊張の表情で話に耳を傾けていました。最後に新入生を代表して菅野将輝君が力強く「高校生としての自分を尽くす」ことを宣誓し、式を終えました。
生徒諸君の今後の精進と飛躍に、ご支援ください。

短大 オペレッタ発表会 [2/26]



八戸市公会堂文化ホールにて、幼児保育学科2年生が第12回こどもフェスタに参加し、「ミニオペレッタ」金のがちよう」「三太郎物語」「わらしべ長者」「ブレーメンの音のくたい」を発表しました。
身体表現・リズム等に対する身体的即時反応・振り付け・フォーメーション・色彩(衣装)・背景・台本・音楽・衣装・大道具・小道具等は、音楽・美術・体育の実践的専門性を十分発揮した2年間の集大成となる総合芸術としての表現発表となりました。
オペレッタ発表会には毎年足を運んでくれる方も見受けられ、このイベントが定着してきているようです。会場はたくさんの方の立ち見客であふれ、手遊びや生演奏もあり、子どもから大人まで楽しんでもらえる発表となりました。

短大

「こども食堂」への挑戦

親が共働きでご飯を一人で食べることが多い子供や、貧しくてちゃんとした食事ができない人達に低価格、または無料で食事を提供する「こども食堂」。孤食や欠食、そして貧困問題を抱えている人たちへの支援策として全国に広がり、今やその数は300ヶ所余になる。佐藤千恵子ゼミでは活動の「環」として学生達と「こども食堂」を計画し、対象となる子供やそうでない人達にも食事の必要と楽しさを体感して貰えればと昨年の11月から市内2箇所開設しました。結果、新聞報道の効果もあり、多くの方が興味関心を持ち参加してくれました。さらに学生達の卒業後は4箇所地域の方々に引き継がれ、八戸にも少しずつ広がります。



地連研 第4回大学健康医療学部・短期大学部看護学科公開講座開催 [3/4]



八戸学院大学健康医療学部・短期大学部看護学科が主催する公開講座が、八戸ポータルミュージアムはつちにて行われ、延べ約80名が参加しました。本講座は生涯学習の二環として、地域の皆さまに学習機会をご提供することを目的に開催しています。
今年度は「専門家が語る「健康・福祉・癒し」」をテーマに、健康医療学部・短期大学部看護学科の5名の教員による講座が開かれました。
内容は「健康医療学部について」、「学校教育における階上町地域伝統芸能と表現運動のかかわりに関する研究」、「看護に生かす補助的・代替的療法」家庭でできるケア(「成年後見制度による生活支援事例について」、「スピリチュアルケアの必要性」と多岐にわたる内容となりました。

地連研 コンディショニングセミナー開催 [2/17・18]

地域連携研究センターは、青森県並びに一般社団法人北東北ウェルネス研究所と連携して、地域資源と健康管理に比重をおいた「コンディショニングセミナー」を平成29年2月17日(五)戸辺地野スポート交流センター・18日(八戸学院大学)の2回開催し、延べ112名が参加しました。
今回のセミナーでは、自分自身で筋肉を整え、体調と体形を改善できるコンディショニング(体調改善運動)の第一人者である有吉与志恵氏を招へいし、宿泊施設関係者、介護福祉施設関係者、運動指導者やスポーツ学生等を対象に、筋肉を鍛えるよりも整える事で、体調と体形が改善できる「コンディショニングメソッド」の講義と実技(体験)を行いました。(青森県ヘルスケアサービスビジネス開発モデル実証事業)





鑑賞後には「やってみたい」「かつよかった」「すごい」などの声がたくさん聞こえてきました。

山道えんぶり組の皆様の中に在園児、卒園児のお兄さん、お姉さんもいて素敵なお披露の舞台となりました。

農作業の休憩中、松の枝を持って踊ったのが始まりといわれる舞の「松の舞」や恵比寿さまが鯛を釣る様子を釣竿と扇子を使って舞う「えびすまい」、輪に銭がついた銭太鼓を持って回しながら舞う「えんこえんこ」などを披露していただきました。

重要無形民俗文化財「八戸えんぶり」を鑑賞しました。

子ども達は烏帽子の大きさをかたち、それぞれ違う模様に興味津々でした。そのほかにも「えんぶり」とは春を呼ぶと言われていること、稲作の種類まきから田植えまでの動きを表現しているというところも知ることができました。

「八戸えんぶり」鑑賞会

第二ののめ

[2/17]

第二ののめ 入園式 [4/8]

今年度も、元気いっぱい可愛いお友だちが入園しました。名前を呼ばれると大きな声でお返事をし、笑顔が見られました。

また、今回は年長組のお兄さん・お姉さんも参加し、チューリップの手遊び歌や園歌を披露しました。初めての集団生活に入る最初の日、保護者の皆さんと和やかな入園式となりました。



聖アンナ 和食を身近に感じよう～すききらい克服プロジェクト～ [5/18]



食育教育の一環として、「料理の達人が教える！すききらい克服プロジェクト！」に参加しました。すききらいの克服や「食」の大切さを考えることを目的とされているプロジェクトで、子どもたち向けに献立を考えて下さり、年長・年中児と保護者にも声を掛け、「高麗橋吉兆本店 三代目主人」湯木 潤治先生から和食づくりを間近に見せていただきました。昆布出汁の味とお節を入れた味の変化を感じようと口内調理で味見をさせていた



き、初めての出汁の味に「なんの味？」と不思議そうな表情の子ども達。また、青森県内のプロの料理人の方からも調理工程を楽しいお話を交えながら具体的に教えてもらいました。出来上がったお料理は、みんなで実食！どのお料理もとてもおいしくて、普段は野菜が苦手な子ども達も「お野菜おいしい！」と笑顔で食べることができ、まさに「すききらい克服！」した子ども達でした。

八戸学院 新学期がスタート！広がる笑顔！元気な子ども達！



新入園児を迎えて新学期が始まり、園内は子どもたちの元気な声と笑顔でいっぱいです。登園後、着替えやタオルなどの持ち物一つを所定の場所に準備し、好きな遊びを選択して取り組みます。はじめは、ままごとやブロックなど経験のある遊びをしながら安定していき、少しずつ生活教具、感覚教具、制作教材など様々な活動に意欲をもつて挑戦していきます。また、園庭遊びでは、風になびく鯉のぼりのように元氣いっぱい駆け回ったり、お花摘みをして保護者の方へのプレゼントにしたりと楽しんでいます。

5月5日こどもの日、実物の鯉のぼりの口や尾から出入りして実体験を楽しんだり、初めての参観日で保護者の方と一緒に鯉のぼり制作をしたり、エントランスに飾られている五月人形を見ながらお話を聞いたり、端午の節句を十分に楽しみました。



4月22日には未就園児教室「星の子キッズクラブ」が開講し、幼稚園のマスコット「ステラちゃん」と一緒にダンスをしたり、パネルシアターを見るなど、たくさんの参加者で賑わいました。

さて、6月4日(日)9時から、八戸学院大学短期大学部校舎前グラウンドで、運動会を行います。未就園児競技もあります。年長児の組体操など園児の「所懸命な姿」をご覧いただきたいと思



聖アンナ

新年度はじまりました

桜とともに春が訪れ、まもなく新緑の季節になろうとしています。4月の入園式を終え、子どもたちが元気に登園してきます。新入園児のお友達もはじめは緊張して不安そうなお手伝いをしてあげたり、一緒に遊んだりしているうちに少しずつ園生活にも慣れてきました。また、進級児のお友達も身の回りの始末など自分で行えることが増えすっかりお兄さんお姉さんの顔つきです。5月に入ってから園庭遊びも始まり、子どもたちの笑顔あふれる元氣な姿で新年度スタートです！

「自分の頭で考えて動く部下の育て方」 篠原 信 著／文響社

色んな材料（知識）を与え、それを学生が選択し、成功したり失敗したりして成長させることが指導者の仕事のひとつなのかなと思います。

この本に出会って学生自身にもっと考えさせないといけないということ学びました。こちらがあれこれ指示を出し過ぎることをやめてしまい、指示待ち人間が出来上がってしまいます。ただ、ある程度の考える材料（知識）を与えないと考えること自体が出来ないので、そのバランスは日々、試行錯誤しながら指導しています。



学ぶことをやめたとき、
教えることをやめなければならない

最後に「我々は学ぶことをやめたときに、教えることをやめなければならない」という言葉がロジエルメールというサッカーの元フランス代表監督が言っています。何かを教える立場にいる以上、毎日少しずつでも勉強していくことが学生のためになると思って図書館に通っています。



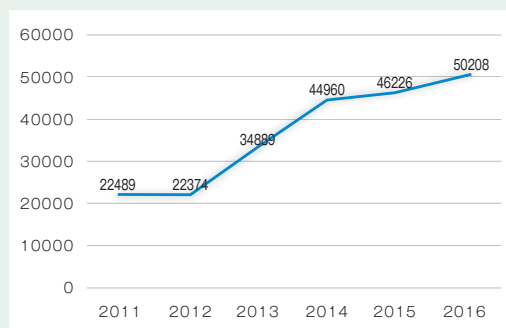
山下 祐史氏
学務部教務学生課主任
八戸学院大学
ラグビー部／女子ラグビー部
ヘッドコーチ

八戸学院図書館年間入館者5万人を突破！

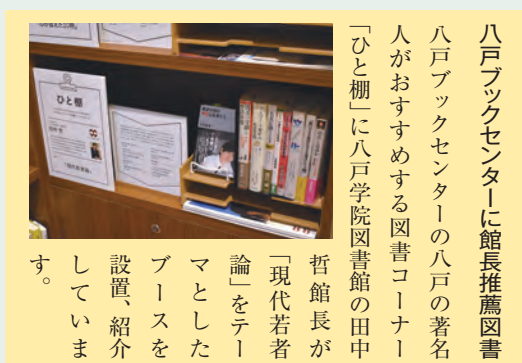
一般的に図書館は、静かな環境で本を読み、学習する場という概念があり、「暗い」「近づくにくい」「入りにくい」というイメージを持った人が多かったと思います。本館においても図書館特有のイメージを払拭できずに館内は閑散としていて、平成24年度の延べ入館者数は2万2千人前後を推移していました。

図書館が新体制となった平成25年、最初に取り組んだのは「集客」でした。スタッフの意識改革はもちろんですが、アメニティーの高い図書館を目標として、八戸市立図書館など近隣の6つの公共図書館へスタッフ全員が見学ツアーを実施。その後の改善案レポートから、屋外にカフェテラスの設置、フリーブックコーナーの開設、展示企画、館内をハロウィンやクリスマスヴァージョンに飾り付け、スタッフもそれらのコスプレをしました。また外部への情報発信として訴求力を持つ「Facebook」「LINE」「Instagram」など、SNSを活用したブランディング。学内では壁新聞「六号館」を創刊し、キャンパス内に掲示しました。それにより平成25年度の図書館入館者数が3万5千人となり、平成28年度は5万人超えを達成しました。

まだまだ多くの課題はありますが学生が求めるものを常に考えながら、さまざまな企画等を学生と一緒に進め、利用しやすい図書館づくりを目指していきたいと思っています。



八戸学院図書館入館者数



八戸ブックセンターに館長推薦図書八戸ブックセンターの八戸の著名人をおすすめする図書コーナー「ひと棚」に八戸学院図書館の田中哲館長が「現代若者論」をテーマとしたブースを設置、紹介しています。

イベント情報

event schedule

八戸学院幼稚園

【運動会】

6/4(日)9:00～12:30

【星の子祭&夕涼み会】

7/23(日)14:00～

【星の子キッズクラブ】登録制

・チッチクラス(生後3ヵ月～1歳前半)

10:30～11:30 6/22(木)、7/11(火)、8/23(水)

・2歳児プレスクール(満2歳児になるお子さん)9:00～11:30

火曜日コース 6/6、6/20、6/27、7/4、8/22

金曜日コース 6/9、6/15(木)、6/30、8/25

・ひよこプレスクール(満3歳児になるお子さん)9:00～11:30

6/15(木)、6/21(水)、6/29(木)、7/13(木)、8/24(木)、8/31(木)

・ステラクラス(1歳後半～入園前のお子さん)10:00～11:30

水曜日コース 6/7、7/5 木曜日コース 6/8、7/6

水・木合同 6/14、7/12、8/30

八戸学院聖アンナ幼稚園

【運動会】

6/17(土)9:45～12:00(予定)

【夏の季節祭】

7/22(土)12:00～15:00(予定)

【オープンスクール】

6/21(水)、7/12(水)

【めだか学級】予約制

6/27(火)、7/4(火)、8/29(火)10:00～11:30

【ベビーマッサージ教室】予約制

・聖アンナ幼稚園開催

6/2(金)7～11ヵ月、6/30(金)12～24ヵ月

・南部山健康運動センター開催

6/25(日)7～11ヵ月、7/9(日)12～24ヵ月

八戸学院第二しのめ幼稚園

【運動会】

6/25(日)9:30～12:00

【夏祭り・作品展・バザー】

7/23(日)15:00～19:00

【ポケット広場】申込不要

6/1(木)、7/5(水)10:00～12:00

【土曜ポケット広場】申込不要

6/3(土)、7/1(土)、8/5(土)10:00～12:00

八戸学院大学・八戸学院短期大学部



【オープンキャンパス】7/22(土)10:00～13:00

- 学科紹介 ●体験授業 ●キャンパスツアー(施設見学)
- 保護者向けプログラム ●個別相談 ●在学生フリートーク等

八戸学院短期大学

【第47回八戸小唄流し踊り】

7/14(金)17:30～ 八戸市中心街

光星高等学校

【アクティブスクール学習編】

7/27(木)、28(金)9:00～12:30

野辺地西高等学校

【体験入学】

7/27(木)、8/7(月)9:00～12:00

光星高等学校専攻科

【オープンキャンパス】

7/15(土)9:20～12:00

【青森県職業体験フェア「わかる日」】

6/28(水)13:00～18:00 八戸市東体育館



法人創立60周年記念行事

【美保野キャンパス野外フェスティバル(仮)】

8月26日(土) 美保野キャンパス

【記念モニュメント除幕式】10月予定 光星高校

【記念ミュージカル】11月8日(水) 八戸市公会堂

【記念式典】11月12日(日) 八戸市公会堂

【記念祝賀会】

11月12日(日)八戸プラザホテルアーバンホール



理事長
散策

法 官 新 一
Shinichi Hogan

28年ぶり常工兵君との再会

美保野キャンパスの桜が満開の4月26日、30年ほど前に中国から光星高校自動車科に留学し、3年間で八戸で過ごした常工兵君（日本名上代明）が、28年振りに日本、しかも母校を訪問してくれました。中国でどうしているのかと気にかけていましたが、突然の訪問に感慨一入です。



折しも光星高校は1986年制服が一新し、男子は学生服からブレザーに、また女子の胸にもお揃いのエンブレムがつき、都会的センスに変わりました。

明君が入学したのは、1990年4月で日本語もたどしだったのが、自動車の最新技術を学ぶため、専門用語を中日辞典で解読するなど、一生懸命学び卒業して中国に帰国しました。出身は中国の天津でしたが、お父さんの仕事の関係で北京に住んでいました。日本と中国が国交回復した直後で、明君以外に中国から帰化した家族の子供が入学した時であり、村田軍夫君もその一人でした。二人は



中国からの短期研修生と対面する上代君(左手前 平成3年)

親友で現在も音信はあるそうです。明君帰国後、二年経って北京の明君のお宅を訪問しています。最初が前山廣美先生で、天安門事件の翌年には私が訪問する機会をもちました。いずれも、日中友好青少年団の二員としてでした。北京は中国の首都ですが、日本で言えば銀座の真ん中を馬車が走っているそんな時代でした。オリンピック以後、北京の街は大きく変わったそうです。



1年次の担任だった時苗裕司先生(中央)と光星高校生徒たち



また当時の光星高校には、アメリカ(コロラド州)から、シドニー・パルマーさんが在籍しており、異文化を体験する留学生と光星高校の生徒たちとの交流は、新鮮で良い機会だったと懐かしく思い出します。

さらにシドニーさんの交換留学生として木村清彦君が1年間アメリカに派遣されるなど国際色豊かでした。

そのシドニー・パルマーさんから元気で活躍している状況のメールを頂いたので、紹介したいと思います。



シドニー・パルマーさん



60周年記念事業Ⅱ進捗報告Ⅱ

日本私立大学協会の春の総会が3月29日、東京において開催されたので、翌日帰る前に東京芸術大学の北郷先生を訪ねることにしました。皆さんもご存じの通り北郷先生には、60周年記念モニュメントの制作をお願いしている関係で、制作の進捗状況確認と慰問を兼ねての訪問でした。上野駅から上野公園を横切って芸大までの道すがら、上野公園は陽気が良いのと八分咲きの桜見物で大勢の人が出ていました。

北郷先生のアトリエではお二人の助手と実物の製作に取りかかっており、粘土の原型でしたが、優雅さとかかなりの迫力を感じさせられました。制作は順調で9月には完成し、展覧会を経て八戸に運ばれる予定とのこと、皆様にもお伝えしたい気持ちに駆られました。

60周年式典は、11月12日(日)に八戸市公会堂において開催が決まり、祝賀会も同日式典終了後、八戸プラザホテルアーバンホールで開催することになりました。

60周年の協賛会長泉山氏は年度末に多くの企業を訪問されて、事業協賛基金のお願いに歩いて頂きました。現段階で本当に多くの方々のご協力を得ら

れたことに感謝を申し上げるとともに、泉山会長他皆様のご尽力に心からお礼を申し上げます。

年度が代わり、学院内においても辞令交付式でお願いしたとおり、記念事業に向けて各部署が活動的になってきております。4月には、式典、祝賀会の担当者が集まり具体的に行動の申し合わせがあり、式運営とともに式典祝賀会の事務的な作業に着手していただきました。

また、11月8日に開催予定のミュージカルについても、いよいよそれぞれの役割に基づいて練習が始まったと聞いております。それに北郷先生のモニュメントは10月の序幕に向けて順調に進んでいます。

さらには、5月の常任理事会において企画が発表になりましたが、8月26日(土)に美保野キャンパスにおいて、野外パーティーも企画されるということです。地域の方々はもちろん、全国にいる本学院の卒業生はじめ教職員のご家族を含めた参加で、夏のひとときを賑やかに多くの人たちが再会して旧交を温める会になればいいと思います。企画チームが編成され、近々、開催内容が明らかになると思っています。

昨年からは始まった60年を祝う事業が学院の学生・生徒・園児と教職員の方で準備が進められていることを嬉しく、楽しみにしています。



八戸学院大学短期大学部(旧八戸短期大学)

HACHIGAKU
history

～八戸学院大学短期大学部～



八戸学院大学短期大学部幼児保育学科棟(中央の校舎。平成27年12月竣工)

昭和46年に開学した八戸短期大学(現:八戸学院大学短期大学部)は、これまで7,038名の卒業生が巣立ち、社会で活躍しています。開学直後に植えられた桜の木は立派に成長し、毎年見事な花を咲かせています。



樹齢40年満開の桜



1973(昭和48)年の様子